

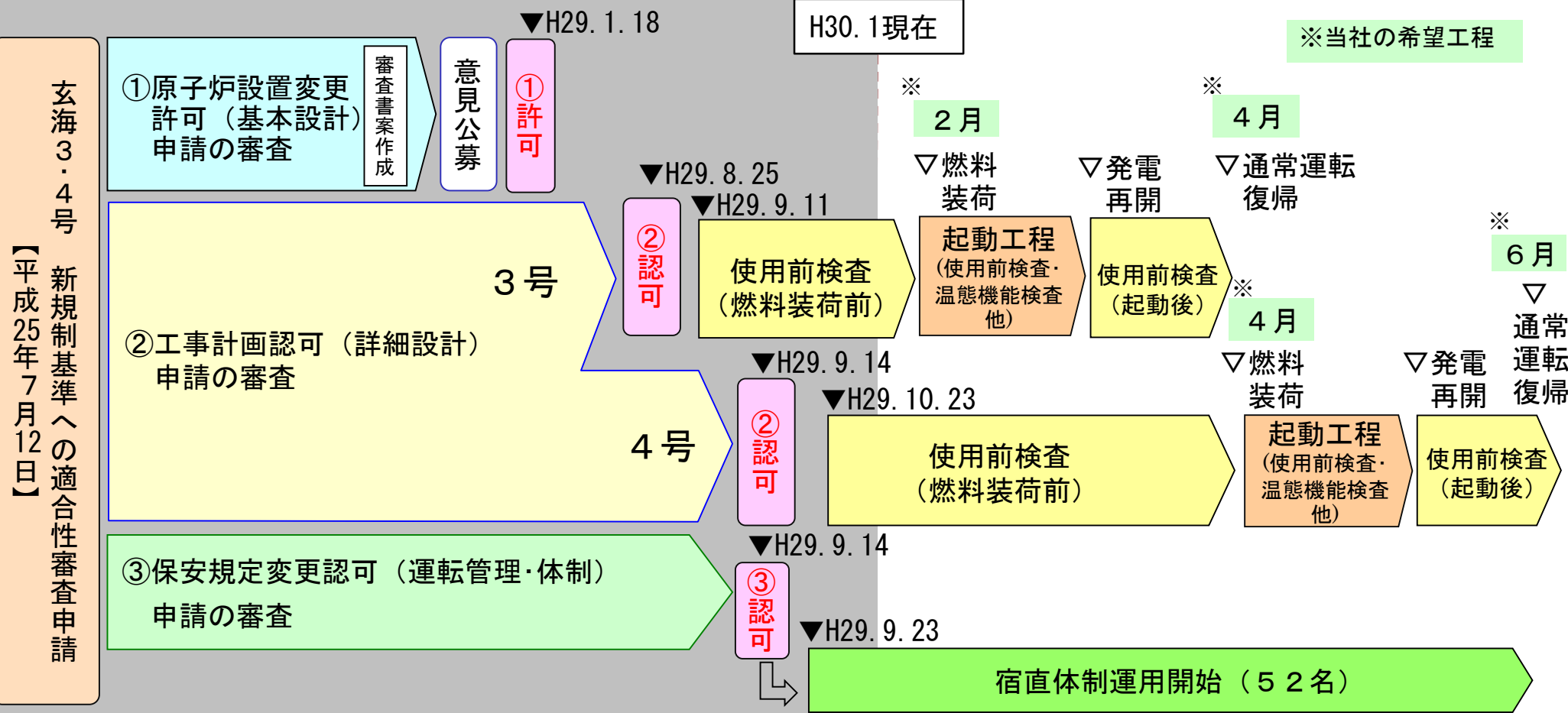
玄海3, 4号の再稼働に向けた取組状況について

平成30年1月25日
九州電力株式会社

1. 玄海3, 4号の再稼働までの流れ
2. (株)神戸製鋼所の不適切行為に関する当社の調査状況
3. 三菱マテリアル(株)子会社の不適切行為に関する当社の調査状況

1. 玄海3, 4号の再稼働までの流れ

- 玄海3, 4号については、平成25年7月12日に新規制基準への適合性審査申請を行い、平成29年に原子炉設置変更許可(1月18日)、工事計画認可(3号:8月25日、4号:9月14日)、保安規定変更認可(9月14日)を受領しました。
- 当社は、現在、発電所において実施されている使用前検査に真摯かつ丁寧に対応し、再稼働に向けた安全対策に万全を期してまいります。



2. (株)神戸製鋼所の不適切行為に関する当社の調査状況（その1）

これまでの経緯

- 平成29年10月8日、神戸製鋼所は、一部の製品で検査証明書のデータ書き換え等の不適切行為を行っていたことを公表

【原子力関係での本事案該当製品など】

- ・東京電力(株):福島第二原子力発電所3号機の熱交換器用チューブ
(取替用予備品)
 - ・日本原燃(株):新型遠心分離機用の品質データに不適切データ
(未使用部品)
- 神戸製鋼所による公表を受け、当社は、神戸製鋼所等製品の使用について調査を開始
 - 同年11月15日、原子力規制委員会に、当社原子力の調査状況について報告
 - 同年12月4日、当社ホームページに調査状況等を公表
 - 平成30年1月24日、当社ホームページに継続していた調査状況等を公表

2. (株)神戸製鋼所の不適切行為に関する当社の調査状況（その2）

現時点までの調査と対応状況

【玄海3, 4号の安全上重要な設備】

○ 当社は、安全上の問題となるものではないと評価

- ・ 安全上重要な設備について、神戸製鋼所製の溶接材など一部に使用が認められたが、当該品は、不適切行為があった工場で製造されたものではないことを、神戸製鋼所に直接確認しています。

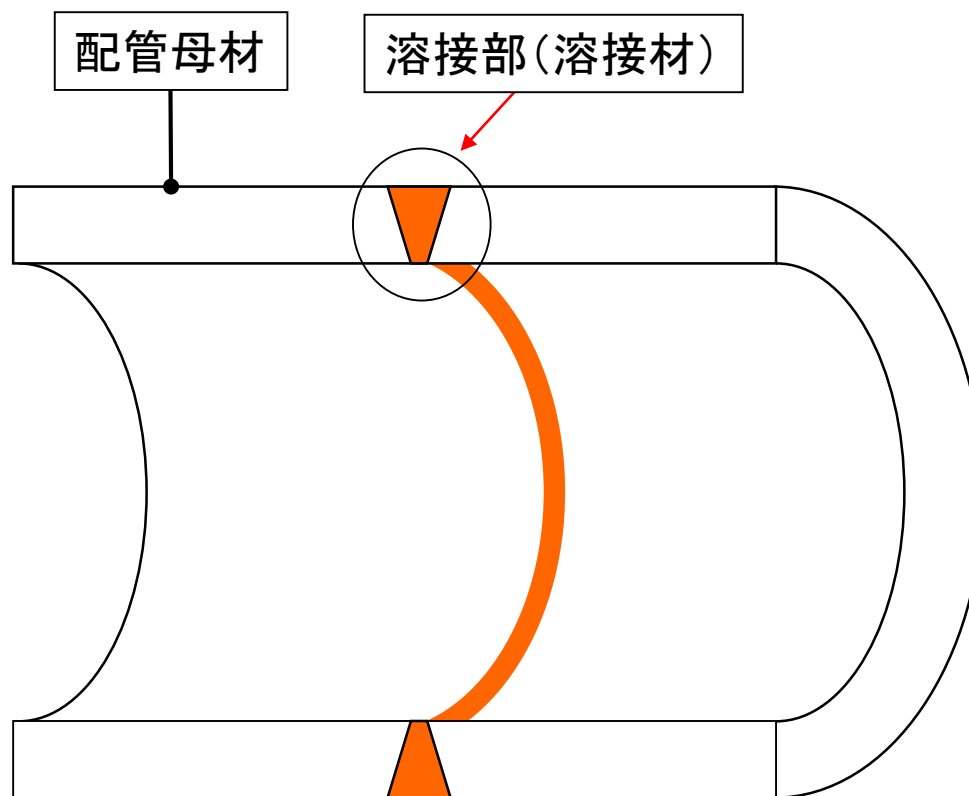
【玄海3, 4号の新規制基準対応設備】

○ 神戸製鋼所製品を使用している場合、使用前検査に先立ち、当社の適合性確認検査において、材料検査プロセス確認、製造工場にある元データとの照合を追加実施している。

○ 3号については、問題ないことの確認を完了し、4号についても、現在までのところ、問題は確認されていません。

○ 使用前検査工程については、当初計画より2ヶ月程度期間を要する見通しです。 (平成29年11月30日、使用前検査工程の変更手続きを実施)

○溶接材の使用例



3. 三菱マテリアル(株)子会社の不適切行為に関する当社の調査状況

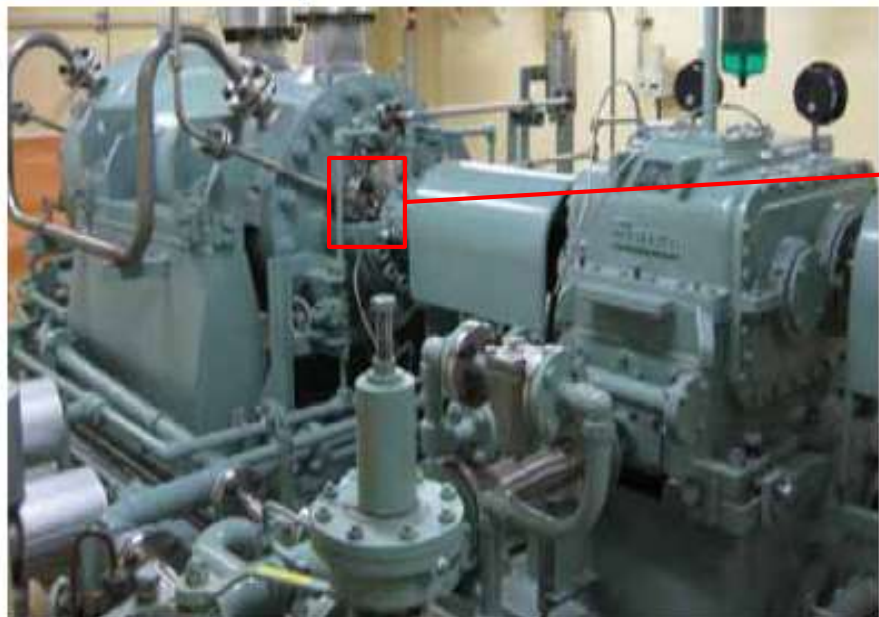
これまでの経緯及び現時点までの調査と対応状況

- 平成29年11月23日、三菱電線、三菱伸銅において、検査記録データの書き換え等の不適切行為が行われていたことが判明
- 当社原子力発電所について調査を行った結果、三菱電線について、不適切行為のあったシール材と同種のシール材(リング等)がポンプのメカニカルシールや電磁弁等に使用されていることが判明
- これら製品については、当社の要求であるJIS規格を満足していることを確認しており、原子力発電所の安全性に影響を与えるものではないと判断
- 同年12月26日、原子力規制庁に、当社原子力の調査状況について報告
同年12月27日、原子力規制庁が原子力規制委員会に報告
- 平成30年1月24日、当社ホームページに調査結果を公表

【参考】三菱マテリアル(株)製品使用箇所(リング)

○主要ポンプのメカニカルシール使用箇所

ポンプ本体



メカニカルシール



【ゴム製リング(イメージ図)】



当社は、玄海3,4号の再稼働を迎えるにあたり、定期検査による既存の設備の健全性確認、長期停止を踏まえた設備の総点検、更には、玄海原子力発電所の特性を踏まえた特別点検などを実施し、安全を最優先で対応してまいります。

今後も福島第一原子力発電所のような事故は決して起こさないという固い決意のもと、継続的かつ自主的に安全性向上に努めてまいります。